





情報連絡員だより

－平成28年3月分の報告より－

年度末需要も少なく、苦戦が続く

業種 / 景況天気図		概況
全	体	 年度末の繁忙感も乏しく、苦戦を強いられた業界が多い。また、人手不足は依然として続き、人材確保に苦慮。一方、織物や商店街で開催したイベントは盛況となるなど、明るい兆しも一部に見られ今後を期待。
製 造 業	食 料 品	 パンはスーパー等が価格を下げており、強気の価格設定ができない状況。菓子はお節句用が減少、観光地の土産用の菓子も低迷。製麺は生・乾麺ともに状況は変わらず。酒造は普通酒の苦戦が依然続く。
	織 維 ・ 同 製 品	 桐生織物はテキスタイル展示会や和装織物の求評会も好評であり、今後を期待。伊勢崎織物は先月に引き続き「群馬繊維製品宣伝販売会」を開催し、所沢市においても伊勢崎緋や銘仙への関心の高さが窺える。
	窯 業 ・ 土 石 製 品	 生コンは前橋・高崎地区は前年並みだが、他地区が苦戦。コンクリートブロックは年度末需要がなく低調に推移。砕石は販売価格は上昇傾向だが、収益状況は地域差が見られ、特に西毛・沼田地域の悪化が顕著。
	機 械 ・ 金 属	 富士重工関連は新規受注品価格は厳しく、収益状況・資金繰りは悪化を示す。プラスチック金型は引き続き稼働状況は良好だが、月末より低下。鍍金は生産調整も一段落し、自動車・電機・建設等で安定化が見られる。
	そ の 他 の 製 造 業	 木材は原材料高と製品安が依然として続く。紙加工品は全体的に薄商いの状況で、企業間格差が散見。印刷は年度末需要が年々細る中、多品種少量受注が増加し、コスト高への対応を苦慮。
非 製 造 業	卸 売 業	 高崎卸のビッグキューブでは就職活動解禁とともに合同企業説明会が目白押し。前橋卸は賃上げ・人材確保が今後の課題。太田卸は機械器具が売上・収益ともに好転傾向。農産物卸は例年並み。水産物卸は売上増加。
	小 売 業	 生花小売は卒業・異動シーズンのため繁忙期だが、花の高値相場に苦しみ収益悪化が散見。沼田の商店街は来街者が増加傾向で、「真田丸展」に併せて開催した「真田の里ふるさと市」が盛況、今後の連携を模索。
	サ ー ビ ス 業	 四万温泉は新卒採用できた旅館もあるが、全体的に人材確保に苦戦。草津温泉は卒業旅行、外国人客が増加するもスキー客の減少が響き宿泊客は若干減少。不動産取引は来年の消費税増税に伴う駆け込み需要対策が始まる。
	建 設 業	 建設工事は繁忙期にかかわらず今年は手持ち工事が極端に少なく、今後も懸念。電気工事は依然として作業員不足が続く。塗装工事は仕事量の落ち着きで単価競争が始まり、施工単価の適正化が失なわれつつある。
	運 輸 業	 食料品・飲料・自動車関連・OA機器等の取り扱いが目立つが、年度末の繁忙感はない。また、安全に対する規制強化を不安視する中、運転手不足の対応に苦慮。小型輸送は卒業シーズンで貸衣装関係が増加。